

バイオマス発電のライフサイクルGHGに係る自主的取組等の情報開示について（2024年度分）

FIT/FIP制度に基づくバイオマス発電事業において使用したバイオマス燃料について、事業計画策定ガイドライン（バイオマス発電）に基づき、以下のとおりライフサイクルGHGに係る自主的取組等の情報を公開します。

[当社は、PKSの持続可能性認証／ライフサイクルGGL認証（認証番号GGL-884448）を取得しています。]

当社は、ライフサイクルGHG排出量の基準に照らした最大限の排出削減に向け、取組を進めてまいります。

番号	設備情報			燃料情報					ライフサイクルGHG		
	認定事業者	設備名称	新規認定年度	燃料区分	燃料名	収集地域	持続可能性の確認方法	使用量(t)	確認方法	計算方法	算定値 (g-CO2eq/MJ電力)
1	海田バイオマスパワー株式会社	海田発電所	2016年度	C	輸入木質ペレット	北米・オセアニア アジア	PEFC FSC	約24万 t	-	既定値/ 個別計算	35.05
2	海田バイオマスパワー株式会社	海田発電所	2016年度	C	PKS	アジア	GGL	約12万 t	-	既定値/ 個別計算	26.68
3	海田バイオマスパワー株式会社	海田発電所	2016年度	B	国内木質チップ (林地残材等)	広島県・山口県	森林法	約4万 t	-	既定値	11.87

※燃料区分

B: 森林における立木竹の伐採又は間伐により発生する未利用の木質バイオマス(輸入されたものを除く。)

C: 一般木質バイオマス・農産物の収穫に伴って生じるバイオマス(製材等残材、輸入木材、農作物残さ等)